

2020年2月北海道・標津研修会の様子が

新聞に掲載されました！

2020年2月22日(土) 釧路新聞

2020年(令和2年)2月22日(土曜日)

釧路新聞

釧路新聞

SENSHIN

根室版

標津の冬の魅力満喫

首都圏の留学生ら町内で研修

【標津】首都圏で学ぶ大学生や外国人留学生が20日から、研修で町を訪れている。一行は町内を中心に道東の文化や自然などを学んでいる。留学生支援や国際交流促進に取り組む共立国際交流奨学財団(東京)の主催で、町エコ・ツーリズム交流推進協議会が中心となって受け入れている。

今回はベトナムやインドネシア、台湾、中国などから訪れている16人が来町した。一行は町生涯学習センターで歓迎を受けた後、サイモン科学館を見学し、サケについて学習した。翌21日は郷土料理の芋餅作りにチャレンジし、羅臼町で流水を観察したりバードウォッチングなどを行った。



歓迎式で自己紹介する留学生

東京都新宿の日本語学校に通うグレイ・マドウさん(27)は「北海道に来るのは初めて。文化や料理に関わるのを楽しみにしていた」と笑顔を見せていた。一行は25日まで滞在し、標津の冬の魅力や自然を満喫する。(會田俊実)

レイアウト・西山 真